（独）環境再生保全機構 環境研究総合推進費 戦略研究Ⅱ-1　一般公開シンポジウム

野生動物の健康

“WILDLIFE HEALTH”

開催日時

2022年3月21日（月祝）
10:00～17:00

場所

日本獣医生命科学大学 E棟
1階 111講義室

主催：環境研究総合推進費　戦略研究II-1
プロジェクト
後援：日本鳥学会、日本野生動物医学会、
日本獣医学会野生動物分科会

参加無料

画：牛根奈々

（独）環境再生保全機構　環境研究総合推進費　戦略研究Ⅱ-1
「希少鳥類保全のためのサーベイランスシステムの開発及び鳥インフルエンザ等による希少鳥類の減少リスクの評価並びにその対策に関する研究」（2018～2020年度）一般公開シンポジウム

Webサイトはこちら

野生動物の健康
“WILDLIFE HEALTH”

参加無料
<事前申込制>

開催日時：2022年3月21日（月祝）10:00～17:00
場所：日本獣医生命科学大学　E棟 1階 111講義室　東京都武蔵野市境南町1-7-1
（オンライン・オンサイト同時開催）
※新型コロナウイルスの感染状況によってはオンラインのみになる可能性があります

プログラム

開会あいさつ
羽山　伸一（日本獣医生命科学大学）

第１部　動物園動物　－高病原性鳥インフルエンザ(HPAI)対策を例に－

１．基調講演 ※1
米国の動物園におけるHPAI講習会と発揮されたその効果
Report on a pilot surveillance program for Highly Pathogenic Avian Influenza in US zoological Institutions
Yvonne Nadler (Association of Zoos and Aquariums)

２．基調講演 ※1
動物園のHPAI対策：希少な飼育個体を守った実例
HPAI control measures in zoos: Examples of effective disease control with minimal culling
Anja Globig (Friedrich-Loeffler-Institut)

３．招待講演
東山動植物園における高病原性鳥インフルエンザの発生と防疫措置
茶谷　公一（名古屋市東山動物園）

４．抗インフルエンザ薬による希少鳥の鳥インフルエンザ感染の予防と治療の試み
迫田　義博（北海道大学）

第２部　野生動物　―ワンヘルスアプローチによる疾病対策を目指して―

１．鳥インフルエンザウイルスの効率的サーベイランスシステムの開発と希少鳥類への感染源となる水鳥の感受性評価
山口　剛士（鳥取大学）

２．鳥インフルエンザウイルス感染による希少鳥類の減少リスク評価と生息環境清浄化技術の確立
小澤　真（鹿児島大学）

３．本州以南における猛禽類の鉛中毒実態に迫る
齊藤　慶輔（猛禽類医学研究所）

４．鳥類に蓄積する鉛の検出と毒性学的解析
石塚　真由美（北海道大学）

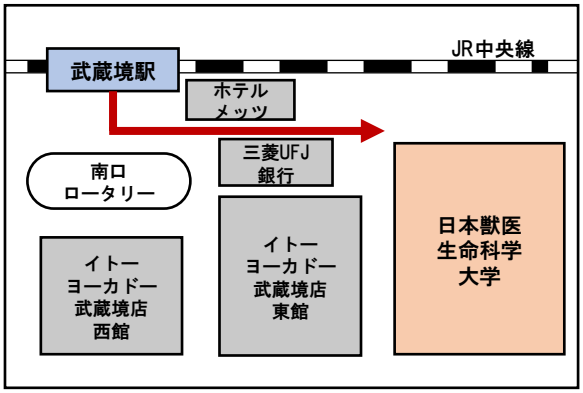
５．国内に分布する猛禽類の鉛曝露リスク評価
大沼　学（国立環境研究所）

６．野鳥の健康診断をやってみた
―HPAIおよび鉛汚染サーベイランスによる総合的リスク評価―
森口　紗千子（日本獣医生命科学大学）

７．基調講演 ※1
今必要な野生動物疾病サーベイランスと未来への指針
Wildlife Health Surveillance: Current needs and future directions
Jonathan Sleeman (USGS National Wildlife Health Center)

８．総合討論 ※2

※1. 資料は和訳付、録画した講演を再生します（日本語字幕有）
※2. 総合討論では同時通訳有



JR中央線武蔵境駅から徒歩5分

申込方法　Webサイトよりお申し込みください。https://s2-1-surveillance.jimdofree.com/

お問い合わせ先　日本獣医生命科学大学獣医学部 野生動物学研究室　TEL: 0422-31-4151(代表)